

第13回 もうひとつの住まい方推進フォーラム 2018



お互い様の 社会ビジネス

居住の住まい手、作り手、担い手

住まいは、様々なひと、地域、団体・企業の支え合いで成り立っています。
高齢化、人口減少などの課題を前に、新たな参加と共生のあり方が求められています。
そこで必要なことは、
支え合いを持続させていくための様々な事業と連携、社会ビジネスの視点です。
それぞれの立場をつなぎ「お互い様」の関係を長く持続させる
もう一つの住まい方とは？
どうぞ、ご参加ください。

2018年 **11/17** (土)

芝浦工業大学 芝浦キャンパス 802 教室 13:00 (受付 12:30)

・参加費 (資料、交流会費) : 会員・学生 1,500 円 / 一般 2,000 円

※懇親会 : 3,500 円 (要事前申し込み)

・定員 : 先着 180 名

・申し込み

メールで : info@ahla.jp FAX で : 03-3200-9250

いずれかの方法で、参加者のお名前、所属、連絡先、懇親会参加有無を記載ください。

〆切り : 2018年 11月 10日 (土)

・第1部 シンポジウム 13:20~

暮らしを支える福祉と住まいの新展開

・第2部 事例紹介 16:00~

つくばからのもうひとつの住まい方

主催 : 第13回 もうひとつの住まい方推進フォーラム 2018 実行委員会
事務局 = もうひとつの住まい方推進協議会

第13回 もうひとつの住まい方推進フォーラム2018

開場 12:30 開会 13:00

・第1部 シンポジウム「暮らしを支える福祉と住まいの新展開」 13:20～15:45

高齢者を中心として、興味深い活動と事例を紹介しながら、ボランティア、生協活動、民間事業者の各々の立場から、自宅に住み続けられるためのお互い様の社会ビジネスを展望する。

【司会】

小林秀樹（千葉大学）

【パネラー】

見守り宅配の可能性「福祉クラブ生活協同組合」

福光早苗（福祉クラブ生協神奈川副理事長）

ケアラーが孤立せず共生できる地域に「ケアラズ・アンド・オレンジカフェみちくさ亭」

布川佐登美（NPO法人ケアラーネットみちくさ代表）

アパートの用途変更と事業収支「居住支援協議会」

高橋弘明（京葉エステート代表取締役、船橋市居住支援協議会）

・第2部 事例紹介：つくばからのもうひとつの住まい方 16:00～17:20

これまで、東京、神奈川、千葉を中心に進めてきた参加と共生に基づく「もうひとつの住まい方」の活動が広がっていくことを願いつつ、つくばエクスプレス方面での活動を紹介します。

【司会】

永井悦子（つくば・市民ネットワーク）

【報告者】

空き家を活用した居場所づくり「放課後の居場所『トリアル』ほか」

鈴木直子（NPO法人Future Support代表）、梅本舞子（筑波技術大学）

つくばの新しい住まいづくり「つくば方式マンションと緑住農」

藤本秀一（国土交通省国土技術政策総合研究所）

住民参加でまちを育てる「つくばロケーションヴィレッジの取り組み」

温井達也（プレイスメイキング研究所）

【まとめ】

花里俊廣（筑波大学）

17:20～17:45 交流会

18:00～ 懇親会（別会場、事前申込制）

主催：第13回 もうひとつの住まい方推進フォーラム2018 実行委員会

事務局＝もうひとつの住まい方推進協議会

新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK 501

認定NPO法人まちぽつと内

TEL03-3205-6840 FAX03-3200-9250

info@ahla.jp



Alternative Housing & Living Association
http://www.ahla.jp



【会場までのアクセス】

芝浦工業大学芝浦キャンパス
東京都港区芝浦 3-9-14

JR 山手線・京浜東北線
「田町駅」芝浦口から徒歩 3 分
都営地下鉄・三田線・浅草線
「三田駅」から徒歩 5 分